

ワイヤレス – オープンな職場の新しい基準



310億
2023年までに予測されるコネクテッドデバイスの台数¹

Gartnerは、2020年までに世界中で**204億台**のコネクテッドデバイスが使用され、**2023年までには310億台**になると予測しています。¹これは、帯域幅を増加させ、ワイヤレスデバイスの使用を促す5G通信によって助長され、私たちの作業方法を大きく変えます。



80%
ワイヤレスサービスを不可欠である
と考える消費者の割合²

現代の職場は、ビジネスへの影響が最小のワイヤレスの世界を求めています。ここでは、デスクトップデバイス間の接続を可能にする必要があるだけでなく、音声を含めたすべてのビジネスコミュニケーションの基準になる必要があります。

オープンオフィス – ワイヤレスは職場を変えています



67%のワーカーが、職場でパーソナル デバイスを使用しています³

個人用のアンマネージドデバイスの使用によって、混雑したワイヤレス環境における最適なユーザー体験が実現されない可能性があります。**64%の従業員**が仕事の目的で会社承認のデバイスを使っていますが、パーソナルデバイスの使用に関しては、**規制対象になっているのはわずか40%**です。⁴



2030年までには、各従業員は**15台のコネクテッドデバイスを所有するようになります**⁵

各従業員は複数のワイヤレスデバイス(ノートパソコン、プリンター、スマートウォッチ、フィットネスモニター、スマートフォン、ヘッドフォン)を使用しており、その数は増加しています。これはユーザー体験に直接影響を与えます。これらの多くが**無許可の2.4GHzワイヤレス帯を使用するため**です。



従業員の60%が、主なITの問題として、遅いWiFiを挙げています⁶

ネットワーク体験が優れていないと、苦情とサポートの問題が増加する場合があります。

ユーザーの成功のお膳立てをする:ロジクールZONE WIRELESSおよびZONE WIRELESS PLUS

① 青い十字にカーソルを合わせると、その他のコンテンツが表示されます

ロジクールZone WirelessとZone Wireless Plusヘッドセットは、現代のオープンなオフィス環境での作業を考慮して設計され、品質や体験を妥協せずに、自由な携帯性を従業員に提供します。

現代のオフィス空間専用に開発

Zone WirelessとZone Wireless Plusは、Bluetooth®経由でパソコンとスマートフォンに同時に接続します。

Zone WirelessとZone Wireless PlusのBluetoothテクノロジー

最大30mのワイヤレス動作範囲(オープンフィールドの360度の見通し線)



Zone Wireless Plusを使ってより多くのことを達成する

Zone Wireless Plusレシーバーは、1つのBluetoothと1つのUnifying™無線を1つのレシーバー上に統合して、パフォーマンスを最適化します。



Zone Wireless Plusでは、1つのUSB Unifying + オーディオレシーバーを使って、最大6台のUnifyingワイヤレス周辺機器を接続することができます。

最適なユーザー体験を生み出す

① 円とアイコン上にカーソルを合わせると、その他のコンテンツが表示されます

これらのガイドラインに従ってオフィスをセットアップすることで、シームレスなワイヤレスユーザー体験を促進することができます。

干渉を避けるためのベストプラクティス



可能な場合は、WiFiに5 GHz帯を使います
不可能な場合は、アクセスポイントの重複していないWiFi周波数の1つをオフにして、この空間をBluetoothデバイスに割り当てます。



パソコンにBluetoothが内蔵されている場合、使用しない時はBluetoothを無効にします
ヘッドセットとドングルの組み合わせによる音声サービスとの干渉を防ぐ方法



高密度の環境で動き回るのを避けます
^c



ユーザーのニーズに一致する製品を選びます
オフィス内で移動するためのワイヤレスヘッドセット、またはワイヤレスが必要ない従業員用の有線デバイス。

オープンオフィスをコントロールする

アカウントマネージャーに連絡して、職場用のオプションについて話し合い、ロジクールZone WirelessとZone Wireless Plusヘッドセットの詳細を確認します。

挿入
再販業者のロゴ

再販業者名を挿入
電子メールアドレス
電話番号